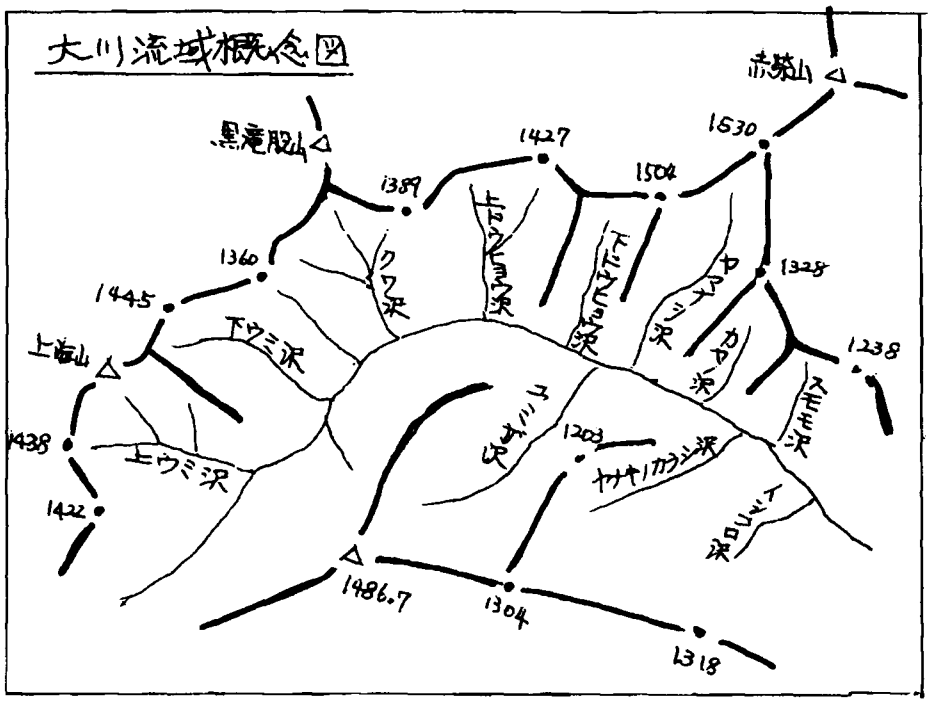


大川支流上ウミ沢右俣　1992年7月26日

8時40分，林道の橋より沢に入る。すぐに８ｍの滝となって右岸から支沢が入り，また左岸からも２段滝となって支沢が合流する。沢はやがて伏流となり，右岸から涸れた支沢が合流すると二俣。右俣に入る。

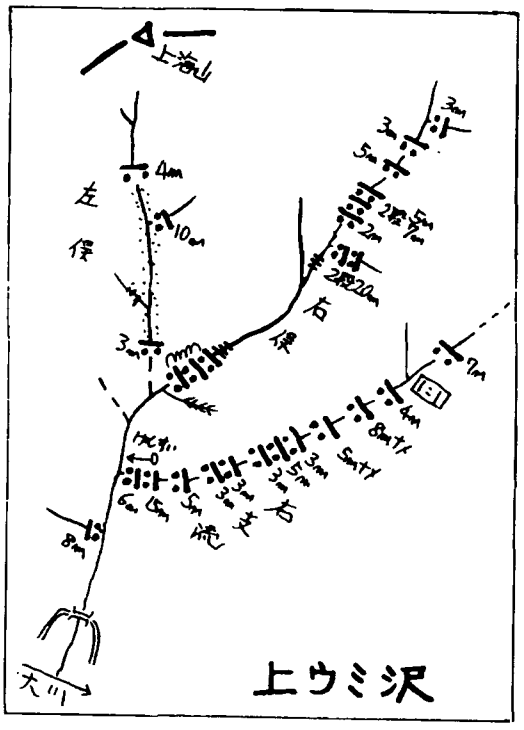
右俣にはすぐ３段滝（８ｍ，６ｍ，２ｍ）がかかる。すべて直登して越える。ナメを過ぎしばらくして右岸から支沢が合流。このあと15mのナメがあって再び二俣。右沢は２段滝となっている。左沢に入ると，これすぐに15mと7mの２段滝。直登し，続く５ｍ滝も直登。このあと３ｍ滝があってまた二俣。右にルートをとるとすぐヤブこぎとなって，40分くらいで上海山に着いた。（記・宍戸宰務）

［タイム］　遡行開始(8:40)→左俣出合(9:20)→上海山(10:40)

大川支流上ウミ沢右支流

1992年7月26日

L

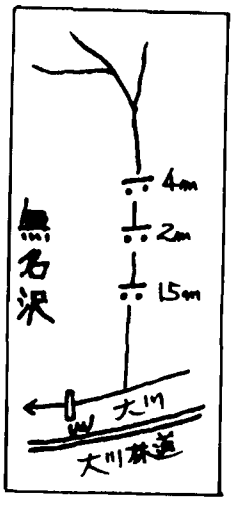


下ウミ沢の遡行を終え，尾根を越えて上ウミ沢右支流の源頭をめざす。急な斜面をヤブこぎの後ガレ場に出，そこから少し下ると源頭に出た。すぐに７ｍの滝がかかり，左側を下降すると二俣に出る。このあとは滝の連続となった。まず４ｍと８ｍの滝を下降し，続く５ｍ，３ｍ，５ｍの滝は，左側を捲いて下降する。続く３ｍの滝の下降でハプニング。ホールドが崩れてバランスを失い，１ｍ程滑落する。とても恐い思いをする。その後も３ｍから５ｍの滝が次々と続いて，一気に高度を下げていく。上ウミ沢本流との出合は15ｍと6ｍの階段状の滝で，左側を懸垂下降する。

出合からは30分河原歩きをして下降終了。私達のパーティが一番遅くなったようで，早く下ったみんなが車で迎えに来てくれていた。リーダーについていくのと記録をとるのに精一杯で，長いようで短かった一日でした。

（記・

［タイム］ 下降開始(11:50)→源頭(12:30)→本流出合(13:50)→下降終了(14:10)



大川支流無名沢

1992年6月13日

L

9時10分，上ウミ沢と下ウミ沢の間で右岸から大川に合流する無名沢に向けて下降開始。急斜面を下り，ガレ沢を分ける小尾根を下る。20分で沢に降り立つが，降り立った所は浮石のいっぱいつまったガレ沢である。浮石の上にしか足を置く場所がなく，落石を起こさないように神経を使う。下り始